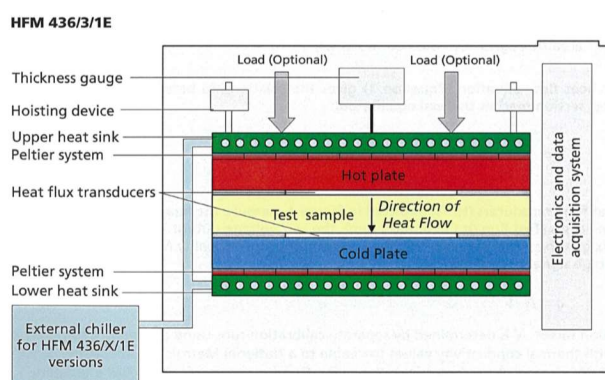


材料熱伝導率測定装置



1. 装置の機能・特徴

- 定常法※で断熱材等の低熱伝導材料の熱伝導率を計測する装置。
 - 30~90℃まで温度別での熱伝導率が計測可能である特徴を持つ。
- ※定常法 : 試料に定常的な温度勾配を与え、熱伝導率を測定する方法。
: 試料の片側を高温に、反対側を低温にし、
試料内の各点の温度測定を実施することで熱伝導率を算出する。



2. 主な仕様

型式 : HFM446LambdaMediam
メーカー : NETZSCH

標準規格 : ISO 8301(HFM法による断熱材の標準的な測定方法)

測定環境温度 : -30℃~90℃

サンプル寸法 : 300×300(最大・標準)
100×100(最小)

板厚 : t5~t100
表面 : 平滑であること

熱伝導率レンジ : 0.005~0.5W/mK

熱抵抗レンジ : 0.1~8.0m²K/W

※本装置は「内閣府 地方大学・地域産業創生交付金」事業により導入しました。

広島大学 デジタルものづくり教育研究センター 材料MBRプロジェクト